

発行：青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会

会長：嶋田博信 副会長：小谷昭・島田吉廣 館長：小谷福哲（小谷家当主）

事務局長：愛沢伸雄（事務局：NPO法人安房文化遺産フォーラム）

〒294-0234 千葉県館山市布良 1256 青木繁「海の幸」記念館 ホームページ <http://aoki-shigeru.awa.jp/>
事務局 〒294-0036 千葉県館山市北条 1721-1 TEL&FAX:0470-22-8271 Eメール awabunka.npo@gmail.com

開館日：土日（平日は事前の団体予約のみ） ※維持協力金(入館料)：一般 200 円・小中高 100 円・友の会無料

＊ ＊ 友の会会員募集中！ 年会費 2,000 円 郵便振替口座 00150-6-616201 青木繁「海の幸」記念館 ＊ ＊

<台風災害お見舞い&御礼>

令和元年9月9日（月）未明、竜巻を伴う強大な台風15号が房総半島を直撃、未曾有の被害をもたらしました。さらに10月13日（日）未明に19号、25日（金）の豪雨と続き、甚大な被害に拡大しました。ご報告が遅くなりましたこととお詫びするとともに、被災した皆様には心よりお見舞い申し上げます。また温かい励ましを下された方々には厚く御礼申し上げます。

最近では報道が少なくなりましたが、実は今なお深刻な状況が続いています。館山市内でも「富崎地区（布良・相浜）」は最も大きな被害となりました。当会役員らの住宅も、瓦が割れたり、屋根が飛んだり、半壊・大規模半壊・全壊・・・といった罹災認定を受けています。集落の8割近い家の屋根が破損し、ブルーシートがかけられていますが、強風のたびにめくれて剥がれ、そのたびに雨漏りを繰り返しています。少しずつ復旧が進んでいるものの、半島の先端部では大工や瓦職人などが決定的に不足しているため、補修工事は1年待ちとも言われ、発災から3ヶ月経過する間にカビが発生したり劣化が進んでいる建物も少なくありません。こうした状況下にもありながらも、自宅で暮らす方が大半で心身のストレスも否めませんが、一丸となって前向きに復興をめざしているところです。

青木繁「海の幸」記念館・小谷家住宅は、皆様とともに保存基金を募り4年前に全面改修工事を施して開館していましたので、今回の台風では瓦が20枚程度落下したものの雨漏りはなくすぐ復旧し、倒れた庭木も対処済みですのでご安心ください。新年は1月4・5日（土日）午後より開館します。



↑ 連携を図ってきた安房自然村も被災



1962年、田村利男・館山市長（当時）が呼びかけ人となって、全国の著名な画家の皆さんの募金や石橋財団の支援により建立された青木繁「海の幸」記念碑が、長年の潮風による塩害に加え、今回の連続台風により劣化が進み、危険な状態となりました。設計は、ル・コルビュジエを日本に紹介した建築家・生田勉で、数少ない現存作品としては価値あるものです。補強修復は困難な道のりですが、せめて応急措置につき専門家の知恵をお借りできれば幸いです。

青木繁「海の幸」を生んだ 布良崎神社の神輿 台風で壊潰！ 復興に力を貸してください。

めら アメトミ/ミコト

布良は、天富命が上陸し房総半島を開拓していったという神話のふるさとです。信仰深い漁村・布良の聖地である布良崎神社は、2つの鳥居から海の向こうに富士山が見えるという素晴らしい景観です。令和元年9月9日、台風15号で布良崎神社は大変な被害を受けました。御神木はじめ境内の大木4本が根こそぎ倒れ、社殿は傾きましたが、その後の宮大工の応急処置により倒壊をまぬがれました。さらに神輿蔵が壊潰し、「大天皇」と呼ばれる自慢の大神輿と白木の神輿が損壊してしまいました。けれど、新造したばかりの子ども神輿は親神輿の犠牲のもと守られました。

「海の幸」はこの神輿がイメージソースになったといわれていますが、青木繁が滞在した明治37(1904)年もまた、村じゅうの大火で焼けた布良崎神社を再建している最中でした。私たちは、総産業の神・子守の神・再起の神が安置された神輿を修復し、地域の復興をめざしたいと祈願しています。全国の皆様、どうぞ力をお貸しください！



NHK「ゆく年くる年」布良崎神社から中継

大晦日の「ゆく年くる年」では布良崎神社が中継されます。初詣では御神酒やお汁粉がふるまわれ、御神木から作ったお札や、氏子が御玉置貝を磨いた復興祈願のお守りも用意されています。安房自然村が臨時駐車場です。



青木繁「海の幸」記念館のお楽しみ

*お正月のお守り貝みがき初め

令和2年1月4日(土)~5日(日) 13:00~15:30

布良の復興を祈願し、今年は特別にお正月から開館し、お守り貝磨きのワークショップをおこないます。参加費は入館料込みで、1人1,000円(+願掛文字彫り1,000円)で、一部は布良崎神社の神輿修復基金となります。どうぞご来場ください。

*ひなまつり

令和2年2月1日(土)~3月8日(日)

小谷家恒例行事。明治期からのひな人形や江戸末期の高砂人形はじめ、釣るし雛を飾ります。

*青木繁オマージュ色紙展

令和2年4月11日(土)~5月10日(日)

全国のご高名な画家の皆様によるチャリティ展です。台風災害により秋の企画が延期となっていました。開館4年目を迎える春に開催します。作品は随時募集中です。

◇館山の海を愛した画家たち展

令和2年2月1日(土)~3月1日(日)

会場：館山病院ギャラリー(館山市長須賀196) / 入場無料・無休

青木繁はじめ多くの画家が館山の海を愛し、描いた佳作を紹介します。

アーティゾン美術館 1月18日(土) 開館

青木繁「海の幸」「わだつみのいるこの宮」など多数を所蔵する公益財団法人石橋美術館ブリヂストン美術館が、新たに「ART(芸術)」と「HORIZON(地平)」を組み合わせ「ARTIZON」と命名された美術館として生まれ変わります。東京都中央区京橋1-7-2



【訃報】 みぞぐちかずお 溝口七生 氏。

青木繁「海の幸」記念館の保存・管理に関して多大な尽力された当会の発起人・運営委員。ご冥福をお祈りいたします。